



台風通過後も水が引かない住宅地
＝9日午後、浜松市南区（本社ヘリ「ジェリコ1号」から）

台風18号 浜松44カ所いまだ冠水 「内水被害」拡大一因か

県内で続いていた秋雨前線と台風18号による大雨は9日に峠を越えたが、浜松市を中心に大きな爪痕を残した。同市南区の可美総合センターが電気室への浸水で当面の閉休館を余儀なくされるなど、10日以降も影響が続きそうだ。

晴れ間の広がった9日、まとめた上で今後の対応策を検討する方針。日午後水が引かない場所が残る。南区の若林町や増葉町、高塚町が増水したときに支流では同日午後3時現在、44カ所が水に漬かったまま。市は「内水被害」が被害拡大の一因とみて、浸水状況を因とみて、馬込川の水位が

上がった上で、支流の高塚川の水が流れなくなつた。その結果、高塚川ににつながる水路や排水路があふれ、浸水が広がらなければならない。中心に実態調査を進める。市河川課の担当者「浸水被害は面でも、浜松市ではほかにも、大雨の影響で同市天竜区春野町の国道362号の路肩が幅約30センチにわたって崩落。車が通行できなくなり、復旧のめどは立っていないという。市内各所に出没していた避難勧告は9日午後1時半、最後に残っていた南区可美、新津地区で解除され、すべて解除された。また、風にあおられ

2015年9月10日 朝刊

①冠水とは、どうなることでしょうか。

②「内水被害」とは、どうなることでしょうか。理由もあわせて説明しましょう。

③浸水被害を減らすために市が考えている対策は何でしょうか。

と強調。貯水池整備や雨水の地下浸透など複数の手だてを講じる必要性を指摘した。

◇ 浜松市内ではほかにも、大雨の影響で同市天竜区春野町の国道362号の路肩が幅約30センチにわたって崩落。車が通行できなくなり、復旧のめどは立っていないという。市内各所に出没していた避難勧告は9日午後1時半、最後に残っていた南区可美、新津地区で解除され、すべて解除された。また、風にあおられ

るなどして40～60代の男女4人が負傷した。

年 組 名前

（小学校中学年 社会・総合、小学校高学年 総合）